

光村図書は、 「令和の日本型学校教育」を どう取り入れてるの？



急激に変化する時代の中、「令和の日本型学校教育」では、
「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通して、
子どもたちの資質・能力を育むことが求められています。
光村図書では、次の3つのことを大切にしました。



自分の大切さに気づける

子どもたちの発達の段階に応じた興味・関心を引き出せるよう、
そして、自分や他者の可能性に気づけるよう、さまざまな教材を用意しました。



「協働的な学び」の場を保証

異なる考え方をもつ他者と対話することで、新しい価値観を創造し、
その楽しさに気づけるよう、対話のための土台作りが
しっかりとできるようにしました。



「個別最適な学び」を手助けする

一人一人の個性に応じて、紙面を見やすくできる機能が付いた
学習者用デジタル教科書を用意しました。



2 「協働的な学び」の場を保証

1年間を通して、話し合いの基本や、他者とあたたく関わり合うためのソーシャルスキル、対話の楽しさを紹介することで、
児童が対話を通して、互いに学び合えるようにしました。

話し合いの基本を押さえる

第一教材で、話し合いの「こつ」を紹介しています。誰もが、自分の意見や存在を受け止めてもらえる安心感をもって、話し合いに参加できるようにしたいと考えました。



3年「1 どうとくが始まるよ」
 みんなで気持ちよく話し合うためのこつ p.6-7

1年「31 『すき』から うまれた『そらまめくん』」p.112-115



一人一人の個性を考える

さまざまな視点から、児童一人一人の個性について考えられる教材を用意しました。



4年「13 みんな同じだったら」p.68-71

1 自分の大切さに気づける

個別最適な学びには、まず、児童一人一人が大切にされ、尊重されることが欠かせません。児童が、自分や他者の個性を大事に考えられるような教材を用意しました。



認め合う雰囲気づくりを日常から

お互いを認め合えるクラスの雰囲気づくりは、道徳の授業のみならず、児童が学校生活を送るうえでも重要です。各学年にある「心を通わそう」の活動に取り組むことで、お互いを信頼して話し合える関係づくりを促します。



6年「『考える』準備たいそう」p.78-79



3年「心を通わそう 『ばかばか言葉』をかけてなかよくしよう」p.32-33

「『考える』準備たいそう」は、普段から、対話のおもしろさを味わえるような機会をつくろうと試みたページです。日々の生活の中で浮かぶ、ふとした疑問をテーマに、みんなで対話することで、意識が変わっていくことをねらっています。

さまざまな題材で

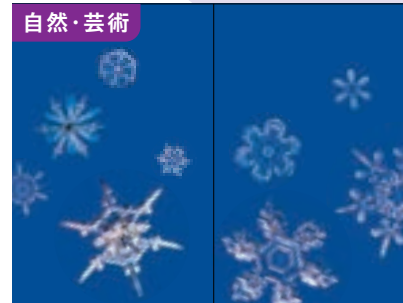
児童は本来、一人一人異なる興味や関心をもっています。さまざまなジャンルの、さまざまな話題を取り上げ、教材化することで、児童の心に響く「何か」に出会えればと思います。

文学



1年「10 きんの おの」p.30-33

自然・芸術



2年「27 きらきら」p.118-125

キャリア



3年「35 スーパーパティシエ物語」p.168-171

キャリア・芸術



4年「30 空からの目線」p.154-157

自然・環境



6年「12 命の旅」p.70-75

3 「個別最適な学び」を手助けする

全ての児童が、自分に合った方法で学習に向き合えるよう、
学習者用デジタル教科書を用意しています。

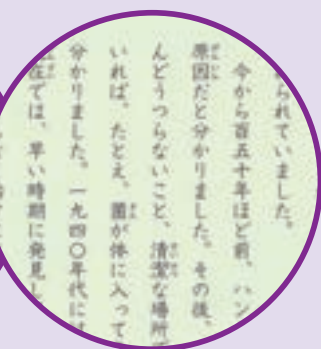
全ての漢字に振り仮名を表示する機能や、白黒反転の機能などを使うことができます。



5年「27 だれもが幸せになれる社会を」p.140-145



白黒反転機能の他、紙面の背景色(5色)の変更ができる機能を搭載しています。白い背景ではまぶしさを感じてしまう児童も、自分に合った色を選択できます。



ボタン一つで、全ての漢字に振り仮名を表示することができます。外国人児童をはじめ、漢字の読みに負担を覚える児童の学習の手助けになります。

教科書画面の拡大・縮小はもちろん、
機械音声での読み上げ等の機能も搭載しています！



光村図書出版株式会社

内容解説資料 発行者:吉田 直樹 発行所:光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 電話:03-3493-2111(代表)
印刷:協和オフセット印刷株式会社 デザイン:陽々舎

光村図書ウェブサイト

光村図書

検索

